体が参加している。 会員社を含む133社・団 めに。」は今年で3年目。

13日時点で新聞協会や協会

の期間中、自社の媒体やイ

報道各社はキャンペーン

、ントなどを通じ読者・視

てるテーマにつなげた報

国連広報センター

する新聞の特性を強調した。

江守氏は23年11月に内閣

テーマに触れる機会を提供

を深掘りし、読者の行動変化につなげる報道」を期 連広報センターは気候変動対策を巡る報道キャンペ 社は報道を通じ、読者に気候変動の影響を身近に感 待する声が上がる。キャンペーンに参加する新聞各 じる動きが広がっている。日本の国内メディアと国 生活への影響や、環境課題に取り組む人々の姿を報 ーンに取り組む。国連側からは新聞社に対し「課題 新聞・放送などのメディア各社が気候変動による

こう、気温上昇を止めるた 5℃の約束――いますぐ動 れた。キャンペーン「1・ 平均気温の上昇を1・5度 で産業革命前と比べ世界の 国際的な枠組み「パリ協定」 に抑える努力目標が定めら じてもらったり、企業などの取り組みの意義を訴え 2015年に採択された たりすることに力を入れる。 長は、受け手の具体的な行 報センターの根本かおる所 解促進に注力する。国連広 聴者の気候変動対策への理 動につながる情報発信をメ ディアに期待していると話 新聞の強みとして「社会

「行動変える」報道に期待

## を読者にじっくり読ませ、 課題の現状や専門的な知見 影響など「誰もが関心を持 深く伝えられる」ことを挙 済活動や衣食住にもたらす げる。気候変動が人々の経 読者に思考促す 足元の話題

で関心を持っていなかったは60・5%だった。ウムに登壇。読者がそれま90・4%、「新聞・雑誌・本」 開いた気候変動に関する報 東大未来ビジョン研究セ道」が有効だとみている。 道の在り方を巡るシンポジ 月31日に民間団体が都内で な役割を果たす」と説く。1 レビなどのメディアが重要 認識を高める上で新聞やテ ンターの江守正多教授は、 「気候変動に関する人々の で人間の活動が地球を温暖 (IPCC)は21年の報告書 動に関する政府間パネル 府が公表した世論調査結果 を紹介した。国連の気候変

## 先進企業の活動 意義を訴求 社会全体 理解深化へ

東京新聞はキャンペーン

社会に向けた企業の取り組 社会部、経済部、デジタル 設けた社内の有志「SDG みや課題を報じる専用のペ 三土曜日の紙面に、脱炭素 初回から関連報道に取り組 んできた。22年から毎月第 s推進チーム」 に所属する ージを設けている。22年に 出量を抑えるために企業が 二酸化炭素(CO2)の排 記者 (経済部) は23年6月、 執筆を担う。 引き寄せたテーマ選びを意 を報じた。「読者の生活に から鉄道に切り替えた事例 貨物の輸送手段をトラック 推進チームの押川恵理子

れた読者一人一人の気候変

編集部などの記者が取材・ 方法は「テレビ・ラジオ」が えた人のうち、情報の入手 のことを「知っている」と答 府の調査結果によると、こ 化させてきたと断定。内閣 待していると述べた。 また、こうした報道に触

分でないとの課題意識があ 務める早川由紀美東京本社 施するからこそ得られる効 むことの意義や必要性につ 代表付調査役兼編集委員 みなども取材してきた。 果の大きさを伝えることで 報じることに注力している や担当者の姿、思いなどを いて、社会全体の理解が十 は、気候変動対策に取り組 にも広がる」可能性にも期 という。企業が組織的に実 ら、先進的に取り組む企業 ると説明。こうした背景か 「同様の取り組みが他企業 推進チームのリーダーを のペースで進んだ場合、50

製造する過程でのCO2排 ムはこれまでに、衣料品を 識している」と話す。チー や、職場のごみを分別・処 出量を表示する米新興企業 理するごみ処理場の取り組 記者が執筆した連載「気候 時ロンドンに駐在していた のキャンペーン期間中、当 る」と説明。サイトは22年 に積極的に取り組んでい い部以外の記者も環境取材

気温や海面上昇などが現在 場」などを載せた。連載は、 変動 沈むスポーツの現 となっている。内閣府の調 るIPCCの21年報告書で 若者にどう届けるかも課題 査によると、温暖化に関す ▽若者に届ける方策課題 気候変動に関する情報を

の指摘を「知っている」と答

などについて解説した。

る可能性がある球場を報じ 年までに洪水などで浸水す えた人は70歳以上で64

(2) %。8(2) 29 次のでは(2) 29 次のでは(3) 29 次のでは(4) 29 次のでは(5) 29 次のでは(6) 29 次のでは(7) 29 次のでは(8) 29 次のでは(9) 29 次のでは(9) 29 次のでは(9) 29 次のでは(9) 29 次の影響(9) 29 次の影響<li

動に対する考えが深まるこ る」と話した。 投票行動などにもつなが とで「環境対策を重視した 朝日も「1・5℃の約束

キャンペーンに開始当時か 動が朝食に与える影響を紙 ら参加。22年にはキャンペ を設けている。 面と電子版で訴えた。また、 ーンの一環として、気候変 する連載などをまとめたサ 電子版内には環境問題に関 イト「地球の未来を考える

香取啓介次長は「科学みら に登壇した科学みらい部の 先月31日のシンポジウム